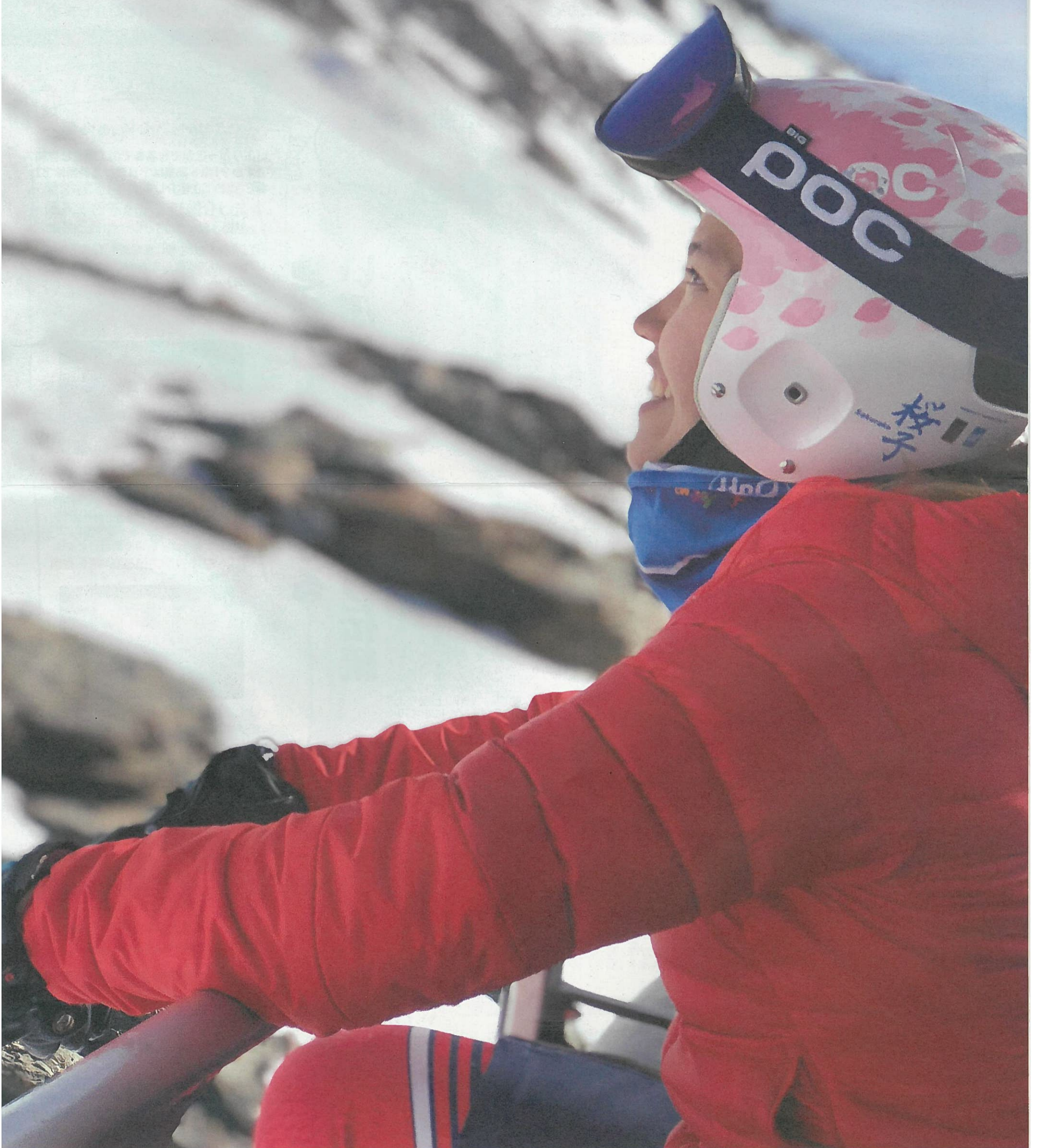


秋田県横手市

よこて fun 通信

横手をもっと身近に、もっと楽しむ 交流情報紙



TAKE FREE 2017.12 vol.10

アルペンスキーヤーとして横手からオリンピック出場を目指す向川桜子さん。厳しい出場基準をクリアするため、海外遠征やトレーニングに励んでいます。大舞台を目指し挑戦の日々が続きます。

横 手 の ち カ ラ

アルペンスキー (秋田ゼロックス所属) 向川 桜子さん

むこうがわ さくらこ
25歳/横手地域出身
角館高校、早稲田大学教育学部卒業。アルペンスキー日本代表として、世界レベルの大会に参戦し活躍。平昌オリンピック出場条件の一つに、12月に北海道で開催される全日本選手権での優勝があり、この大会に向けヨーロッパで調整中。

(主な戦歴)
2009年 高校選抜 優勝
2013年 全日本選手権 優勝
2014年 全日本学生スキー選手権 優勝
2014年 国体(成年女子A) 優勝
2016年 全日本選手権 2位
上記ほか、数々の大会で優勝



(2018平昌オリンピック出場基準)
ワールドカップ8位以内 1回
ワールドカップ20位以内 2回
全日本選手権(12月 北海道阿寒町)優勝

向川桜子公式ホームページ
<http://sakurako-mukogawa.com/>



「今」の自分にしかできないことを 探求している

「子どもの頃から体を動かすのが大好きで、幼稚園から帰ると家族にスキー場へ連れて行ってもらいました。上手になるのが楽しくてうれしくて、スキーの虜になりました」。桜子さんは、横手スキー場での思い出を懐かしそうに話す。

中学2年で知った 勝つことの難しさ

桜子さんに印象深い大会をうかがうと、中学2年生のときに初出場した全国大会だという。「1本目、無心になって攻めの滑りができました。すると、今は亡き石井コーチがものすごい勢いでゴールに降りてきて、私が1本目1位だと知りました。その途端緊張してしまい2本目は2位という成績でした。レースで勝つことの難しさ、自分に勝つことの難しさを学びました」と、桜子さん。石井さんは横手スキー場で小さい頃から桜子さんにスキーを教えていたコーチ。「中学校を卒業するとそれまでのように指導を受けることはなくなりました。結果は2位でしたが、この大会と石井コーチの指導がきっかけでもっと上を目指したいと思いました」。

自分を見失わず やるべきことに向き合う

3年前からスロベニアに拠点を移し、世界各国のレースを転戦している。現在住んでいるのは、コーチの知人宅の2階。「家族みんなが本当に良くしてくれます。スロベニア料理をこちそうしてくれたり、観光に連れて行ってくれたり」と、特に精神的に支えられたという。加えて、信頼できるコーチとの出会いが滑りに磨きをかけている。「今年、念願だったコーチに指導してもらっています。練習中は本当に厳しい方です。コーチの『できるまで要求するしつこさ』が、私には合っています。この人とだから強くなれると確信しています」。世界のトップとの差を埋めるため、すべてのエネルギーを注いでいる桜子さん。「どんなことにも動じない強さやぶれない芯の部分を強くすることができ、冷静に自己分析ができるようになってきました。長いシーズンの連戦中に何が起きても自分を見失わず、やるべきことに向き合える」と確信しています。「『強くなる』という一心で自らの行動し、ここにたどり着いた。精神面も技術面も、いい状態。までできていると自覚する今、さらなる飛躍を遂げようとしている」。

感謝の気持ちを込めた滑りで 世界に横手を発信

コーチ、家族、後援会など多くの方に支えられていることに感謝しているという。「みなさんの願いや思いをしっかりと受け止めてエネルギーに変え、それを滑りで表現したい」。2018年2月に開幕する平昌オリンピック出場に向け期待が高まっている。「横手という帰る場所があるから、海外でも頑張れます。世界に横手を発信するためにも、オリンピックに出場したいです。応援をよろしくお願ひします!」。桜子さんが大舞台で輝けるよう、皆で応援しよう!